



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 バッファロー  
 コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-227-8860

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,392		127		145		92	
2020年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 92百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	41.11	
2020年3月期第2四半期		

(注) 当社は、2020年3月期連結会計年度末から連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2021年3月期第2四半期	6,959		5,286		76.0
2020年3月期	6,844		5,238		76.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,286百万円 2020年3月期 5,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,287	2.4	460	4.5	500	2.4	333	3.6	147.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,253,374 株	2020年3月期	2,253,374 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,733 株	2020年3月期	1,733 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,251,641 株	2020年3月期2Q	2,235,055 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(第2四半期決算補足説明資料の入手方法)

第2四半期決算補足説明資料につきましては、2020年11月4日(水)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度末から連結財務諸表を作成しております。前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動の停滞が続く厳しい状況下で推移しました。緊急事態宣言解除以降に段階的な活動制限の緩和が図られ、一部の個人消費に僅かな回復の兆しが見られたものの、雇用情勢の悪化をはじめとした景気の大規模な後退は避けられず、また、世界各国で流行の第二波が到来し感染者数が再び増加傾向にあるなど、感染収束への見通しも不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け安全・衛生管理を徹底し、従業員のマスクの着用、定期的な消毒の実施、ソーシャルディスタンスの確保等の対策に取り組んでまいりました。急激に悪化した経済状況下におけるパート・アルバイトを含む従業員の雇用維持に努め、生活インフラである車関連事業及び外食事業を通じた地域の暮らしを支えるべく営業活動に全力を尽くしております。

当社グループのセグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### <オートボックス事業>

当第2四半期連結会計期間末におけるオートボックス事業の店舗数は、15店舗であります。

オートボックス事業が属する国内カー用品市場の環境につきましては、県外移動の自粛要請による外出機会の減少とともに、前年の消費税率引き上げ前の駆け込みによる需要先取りの影響もあり、タイヤ、カーナビゲーション、ドライブレコーダー等の主力商品の販売が減少し、新車販売台数も大幅な前年割れとなりました。

このような環境の中で当社グループは、2019年5月に公表した「2019 中期経営計画」のもと「クルマのことからオートボックス」の実践を通じた地域ナンバーワンの店づくりを目指し、顧客満足度向上のための接客・接客力の強化、技術力を備えた専門スタッフの育成に取り組んでおります。販売施策といたしましては、ボディコーティングやヘッドライトコーティングメニュー等、車の美観向上に関するピットサービスメニューの拡充に努め、タイヤの販売数量の底上げと地域シェア拡大施策として、低価格帯商品を充実させた売場づくりと店頭販売体制の強化に継続してまいりました。また、車販売部門につきましては、第1四半期連結会計期間より車販売の取り扱い店舗をオートボックス4店舗から15店舗へと拡充し、オートボックスのカーリース「まる乗り」の拡販展開のほか、物販とのシナジーによる収益の向上を図っております。

なお、来店客数につきましては、自粛要請に伴う店舗営業時間の短縮等がマイナス要因となりましたが、除菌スプレーやウェットティッシュ等の、新型コロナウイルス感染症対策グッズの陳列、品揃えを拡充するなど各種集客施策に努めたことで回復基調が持続し、前年同期を上回る客数実績となっております。

これらの取り組みにより、オートボックス事業の売上高は4,308,228千円となりました。

#### <飲食事業>

当社グループは、2019年7月に設立した子会社「株式会社バツファローフードサービス」により、「焼肉ライク 目黒東口店」（2019年10月オープン）・「焼肉ライク 大宮西口店」（2020年2月オープン）の2店舗の運営を行っております。『焼肉ライク』は、「Tasty! Quick! Value!」をキャッチフレーズに、1人1台の無煙ロースターを導入し、お客様が好きな部位を好きなだけ楽しむことができる新感覚の“焼肉ファストフード店”であり、個人客をメインターゲットにした新たな食スタイルの焼肉店として、メディアの注目度も高まっております。

飲食事業が属する外食産業の状況につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により来店客数が大幅に減少する厳しい環境の中、多くの店舗が営業自粛や営業時間の短縮を余儀なくされました。一方で、店内食の需要減を補うべくデリバリー・テイクアウトの導入を図る動きが強まるなど、業態の枠に囚われない対応が模索されております。

当社グループといたしましては、お客様・取引先様・従業員の安全と健康を第一義に考え感染拡大防止に努めるとともに、密閉空間・密集場所・密接場面の“3密”を避けるトレンドに合致した「非対面・1人食」の強みを生かしつつ、営業活動を鋭意継続し周辺地域における認知度の向上を図っております。

これらの取り組みにより、飲食事業の売上高は84,406千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,392,635千円、営業利益127,493千円、経常利益145,918千円、親会社株主に帰属する四半期純利益92,569千円となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
オートボックス事業	4,308,228	98.1	9,005,461	99.3
飲食事業	84,406	1.9	62,226	0.7
合計	4,392,635	100.0	9,067,687	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

各品目別の売上高及び構成比は次のとおりであります。

品目	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
ピット・サービス工賃	1,333,177	30.4	2,772,369	30.6
アクセサリ・メンテナンス用品	965,925	22.0	1,695,211	18.7
タイヤ・ホイール	799,342	18.2	2,088,775	23.0
カーエレクトロニクス	595,583	13.6	1,314,085	14.5
オイル・バッテリー	367,760	8.4	753,035	8.3
車販売	206,827	4.7	288,035	3.2
飲食	84,406	1.9	62,226	0.7
その他	39,611	0.8	93,947	1.0
合計	4,392,635	100.0	9,067,687	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

- 「車販売」につきましては、第1四半期連結会計期間より車販売の取り扱い店舗がオートボックス4店舗から15店舗に増加しております。
- 「飲食」につきましては、2019年10月に「焼肉ライク 目黒東口店」、2020年2月に「焼肉ライク 大宮西口店」を開設し、第1四半期連結会計期間より通期での営業を行っております。
- 各品目の主な内容は、次のとおりであります。

品目	主な内容
ピット・サービス工賃	オイル交換、タイヤ交換、各種用品取付、板金・塗装、車検・整備、ボディーコーティング、ヘッドライトコーティング、車内クリーニング
アクセサリ・メンテナンス用品	チャイルドシート、キャリア、チェーン、車内アクセサリ、ドレスアップ用品（ステアリング、シート、ランプ等）、チェーンナップ用品（エアロパーツ、マフラー、サスペンション等）、省燃費用品等
タイヤ・ホイール	夏用タイヤ、冬用タイヤ、アルミ・スチールホイール
カーエレクトロニクス	カーナビゲーション、カーTV、ドライブレコーダー、DVD・CD・MDプレーヤー、スピーカー、アンプ、接続具等
オイル・バッテリー	国産・輸入エンジンオイル、国産車用・外車用バッテリー
車販売	新車及び中古自動車
飲食	店舗における飲食サービス

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%、114,783千円増加し6,959,506千円となりました。これは主に、有形固定資産及び流動資産のその他に含まれる前払費用の減少に対して、現金預金及び商品の増加等があったためであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4.2%、67,121千円増加し1,673,322千円となりました。これは主に、未払法人税等及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少に対して、買掛金の増加等があったためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%、47,661千円増加し5,286,183千円となりました。これは主に、配当金の支払に対して、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による剰余金の増加があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表（2020年5月19日）から変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。今後の動向推移等から通期の連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,899,462	2,005,344
売掛金	489,184	468,698
商品	1,010,590	1,096,024
その他	296,819	278,948
流動資産合計	3,696,056	3,849,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,174,909	2,185,430
減価償却累計額	△1,237,352	△1,271,876
建物及び構築物(純額)	937,556	913,553
土地	686,694	686,694
その他	696,681	677,428
減価償却累計額	△466,109	△451,886
その他(純額)	230,572	225,542
有形固定資産合計	1,854,823	1,825,790
無形固定資産	5,925	16,738
投資その他の資産		
差入保証金	763,529	761,070
その他	524,387	506,890
投資その他の資産合計	1,287,917	1,267,961
固定資産合計	3,148,666	3,110,489
資産合計	6,844,722	6,959,506
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	275,979	501,155
1年内返済予定の長期借入金	79,580	66,252
未払法人税等	119,176	59,412
賞与引当金	126,803	107,918
その他	344,816	292,192
流動負債合計	946,355	1,026,931
固定負債		
長期借入金	83,900	52,400
退職給付に係る負債	462,201	482,021
資産除去債務	86,210	86,993
その他	27,533	24,975
固定負債合計	659,845	646,391
負債合計	1,606,200	1,673,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	602,583	602,583
資本剰余金	577,189	577,189
利益剰余金	4,059,154	4,106,690
自己株式	△117	△117
株主資本合計	5,238,810	5,286,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△289	△163
その他の包括利益累計額合計	△289	△163
純資産合計	5,238,521	5,286,183
負債純資産合計	6,844,722	6,959,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,392,635
売上原価	2,264,268
売上総利益	2,128,366
販売費及び一般管理費	2,000,873
営業利益	127,493
営業外収益	
受取利息及び配当金	5,133
受取手数料	3,684
その他	11,780
営業外収益合計	20,598
営業外費用	
支払利息	544
店舗復旧費用	903
その他	724
営業外費用合計	2,172
経常利益	145,918
税金等調整前四半期純利益	145,918
法人税、住民税及び事業税	40,939
法人税等調整額	12,409
法人税等合計	53,349
四半期純利益	92,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,569



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	92,569
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	125
その他の包括利益合計	125
四半期包括利益	92,694
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	92,694
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の見積りにおける新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	オートボックス 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,308,228	84,406	4,392,635	—	4,392,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,308,228	84,406	4,392,635	—	4,392,635
セグメント利益又は損失 (△)	308,161	△16,119	292,042	△164,548	127,493

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△164,548千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。